

始業式式辞 260107

「新年を迎え、この一年間を光輝くものに」

皆さん 新年明けましておめでとうございます。

楽しい正月を迎えましたか。一年の計は元旦にありと言います。新たな自分への誓いを立てましょう。

さていよいよ3学期です。一年間の仕上げの学期です。

1、2学期の成果をますます発展させ高めてください。成績の面で足りないところのある人は最後の挽回を期待します。

3年生は登校日数の少ない学期です。卒業を控え毎日を大切に過ごし、有終の美を飾れるよう取り組んでください。卒業後の新しい生活への準備期間です。大切な時期であることを忘れずに。

2年生は修学旅行があります。これもまた楽しみです。

さて新年を迎え、この一年間が充実した光り輝く一年となることを願い、一句紹介して話をします。

昨年、旅先で目にとまった一句を手帳に書き留めました。

それは私の生まれた昭和30年、俳人高浜虚子の81歳の句です。紹介します。

「星一つ命燃えつつ流れけり」

流れ星は、ほんのわずかな時間、命を燃やし光り輝き、駆け抜けます。

別の解釈もあるようですが、若い皆さんと身近に接することの多い私には、高校生活の3年間は大変短く感じ、その短い高校生活を一所懸命生き、光り輝く若さで駆け抜ける、生徒の皆さんのイメージと重なりました。

「星一つ命燃えつつ流れけり」 高浜虚子

この一年間が生徒の皆さんにとって、目標に向かい情熱を燃やす、光り輝く充実した一年となることを願っています。

これから、徐々に陽は伸びますが、一年で一番寒い大寒を迎えます。健康に留意し、充実した一年にしてください。